

AIの安全性確保と活用促進に関する緊急提言

令和5年12月14日

自由民主党デジタル社会推進本部

デジタル社会推進本部において、AIの進化と実装に関するプロジェクトチームが本年4月に策定した「AIホワイトペーパー～AI新時代における日本の国家戦略～」等をきっかけに、政府におけるAI政策の検討は加速し、岸田文雄首相による「G7 広島 AI プロセス」の提唱、「AI 戦略会議」の創設、「AI 戦略チーム」と「AI 国際戦略推進チーム」の設置など様々な取組みがスタートした。

G7 広島 AI プロセスは、信頼できるAIのための議論を日本が議長国として主導し、今月初旬にG7 首脳から行動指針・行動規範が公表された。国内では、5月にAI 戦略会議が「暫定的な論点整理」をとりまとめ、中央省庁における生成AI利用に関する統一的な方針の申合せ、初等中等教育段階における生成AI利用に関するガイドラインの策定などが行われ、AIと著作権や知的財産権に関する議論なども進んでいる。そして、広島AIプロセスを踏まえ、国内事業者向けのガイドラインも検討されている。

これらの政府による迅速な取組みは高く評価したい。一方で、世界はルールメイキングの次を見ている。AIの安全性の確保に向けて、安全保障、サイバーセキュリティも含む幅広い関係者を巻き込み、より具体的な検討が始まっている。英国でのAIサミットの開催、米英のAI安全研究所の設立、英米はじめ18ヶ国の政府機関による「セキュアAIシステム開発ガイドライン」の策定、「AIの安心、安全で信頼できる開発と利用に関する米国大統領令」などは、その表れであろう。

この提言では、特にAIの安全性に関して、政府が緊急に取り組むべきことを記す。

なお、日本のAI開発力の強化、AIの利用促進等に関しては、あらためて提言を予定している。

1. 国内ガイドラインの活用促進

広島AIプロセス国際行動指針・行動規範を踏まえ、国内のAI関連事業者向けのガイドラインを策定すること。

その際、プログラミングの様に仕事の仕方が大きく変わる分野があることも踏まえ、各分野・業種におけるAI活用の課題・対処方法をそれぞれ明らかにすることにより、AIの社会実装・活用の加速に資するものとする。

更に、当該ガイドライン遵守の履行確保のため、法制化に向けて検討を進めること。

2. AI安全研究所の創設

安全保障、サイバーセキュリティ、AI技術など幅広い専門家が参画する府省横断的なAI安全研究所を早急に創設すること。

同研究所と米英のAI安全研究所等との連携を強化し、AIに関する基準・規格等の策定、AIの

安全性に関する調査・研究、AI ガバナンスを担う人材の育成などを進めること。

3. 必要な予算の確保と AI の安全性に関する技術開発

リスク対応、利用促進、開発力強化等のために必要な予算の確保に努めること。

AI とサイバーセキュリティ、偽情報対策など、AI の安全性に関する技術開発を強化すること。

4. AI 戦略推進体制の拡充

「AI戦略チーム」、「AI国際戦略推進チーム」は、関係省庁の担当者がチーム員を兼務しているが、今後増加が予想されるAI関連の業務に対応するため、これらのチームによる省庁間連携は維持しつつ、事務局に専従職員を配置するなど、早急に体制を強化すること。

以上